

※個々の用語・表現につき、イートモ検索で得られた対訳を1件のみ提示します。

※実際にはたくさんのイートモ対訳がヒットしますので、文脈に応じて対訳を選択して適当に改変して利用してください。

和文原稿
9. 特定の背景を有する患者に関する注意
9.1 合併症・既往歴等のある患者
9.1.1 過度に血圧の低い患者
さらに血圧が低下するおそれがある。
9.2 腎機能障害患者
9.2.1 重篤な腎機能障害のある患者
降圧に伴い腎機能が低下することがある。
9.3 肝機能障害患者
増量時には慎重に投与すること。高用量(10mg)において副作用の発現率が高まるおそれがある。本剤は主に肝で代謝されるため、血中濃度半減期の延長及び血中濃度-時間曲線下面積(AUC)が増大することがある。[11.2、16.6.1 参照]
9.5 妊婦
妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないこと。動物実験で妊娠末期に投与すると妊娠期間及び分娩時間が延長することが認められている 1)。[2.1 参照]
9.6 授乳婦
治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。ヒト母乳中へ移行することが報告されている 2)。
9.7 小児等
低出生体重児、新生児、乳児又は6歳未満の幼児を対象とした臨床試験は実施していない。
9.8 高齢者
低用量(2.5mg/日)から投与を開始するなど慎重に投与すること。一般に過度の降圧は好ましくないとされている。体内動態試験で血中濃度が高く、血中濃度半減期が長くなる傾向が認められている 3)。[16.6.3 参照]

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 過度に血圧の低い患者

さらに血圧が低下するおそれがある。

9.2 腎機能障害患者

9.2.1 重篤な腎機能障害のある患者

降圧に伴い腎機能が低下することがある。

PRECAUTIONS CONCERNING PATIENTS WITH SPECIFIC BACKGROUNDS	特定の背景を有する患者に関する注意
---	-------------------

Excessive QT interval prolongation can lead to new arrhythmias with potential fatal consequences.	過度のQT間隔延長は新たな不整脈につながり、死の転帰をとる可能性がある。
---	--------------------------------------

A dose reduction is recommended in patients with impaired renal function.	腎機能障害の患者では投与量の減量が望ましい。
---	------------------------

In some cases, pyrexia may be associated with renal insufficiency, possibly secondary to dehydration or hypotension.	一部の症例では、発熱に伴い腎不全が起こることがあるが、これは脱水症又は低血圧による二次的なものと考えられる。
--	--

9.3 肝機能障害患者

増量時には慎重に投与すること。高用量(10mg)において副作用の発現率が高まるおそれがある。本剤は主に肝で代謝されるため、血中濃度半減期の延長及び血中濃度-時間曲線下面積(AUC)が増大することがある。[11.2、16.6.1 参照]

Postural hypotension occurred in 1.0% of hypertensive patients at the time of dose increase.	起立性低血圧は増量時に高血圧患者の 1.0%に発現した。
--	------------------------------

A list of prohibited concomitant medications and other drugs that are not prohibited but should be used with caution can be provided in a separate document.	併用禁止薬並びに禁止薬ではないが慎重に使用する必要があるその他の薬剤のリストは別紙に提示する。
--	---

When Drug A is used in combination with other immunosuppressants, excessive immunosuppression may occur and thereby increase the possibility of occurrence of these types of disease.	薬剤 A を他の免疫抑制剤と併用投与すると、過度の免疫抑制が起こり、それによってこうしたタイプの疾患が発症する可能性が高まるおそれがある。
---	---

肝で代謝される→肝臓で代謝される	
Only the ABC moiety undergoes systemic absorption and hepatic metabolism.	ABC 部分だけが全身性の吸収を受け、肝臓で代謝される。

Drug A has terminal half-lives of 300 hours in blood and 200 hours in plasma, far greater than what has been previously reported for other drugs.	薬剤 A は終末相半減期が血液中で 300 時間、血漿中で 200 時間と他の薬剤で以前に報告されているよりもはるかに長い。
---	--

濃度-時間曲線下面積→濃度・時間曲線下面積	
Drug A was cleared with a half-life ($t_{1/2}$) ranging from 100 to 200 hours with an area under the plasma concentration versus time curve (AUC) of 10 (mg/L)·h for the 10 mg/kg group.	薬剤 A は、10mg/kg 群において、半減期($t_{1/2}$) 100～200 時間で消失し、血漿中濃度・時間曲線下面積(AUC)は 10 (mg/L)·h であった。

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないこと。動物実験で妊娠末期に投与すると妊娠期間及び分娩時間が延長することが認められている 1)。[2.1 参照]

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。ヒト母乳中へ移行することが報告されている 2)。

Pregnant women or women suspected of being pregnant	妊婦又は妊娠している可能性のある女性《妊娠が疑われる女性》
Teratogenic effects, dystocia, and perinatal mortality have been reported in animal experiments.	催奇形作用、難産、周産期死亡が動物実験で報告されている。
This study is to investigate the clinical characteristics of late pregnancy with asymptomatic 2019 novel coronavirus disease (COVID-19) infection, evaluate the outcome of maternal and fetal prognosis, and identify the evidence of intrauterine vertical transmission.	本試験は、無症状の 2019 新型コロナウイルス (COVID-19)感染を伴う妊娠後期《妊娠末期》の臨床的特徴を調査すること、母体及び胎児の予後についてその転帰を評価すること、子宮内垂直感染の有無を確認することを目的とする。
Failures, defined as cases requiring surgical intervention, increased with increasing duration of pregnancy.	無効例は外科的処置を必要とする症例と定義され、妊娠期間が長くなるにつれて増加した。
Drug A has been shown to prolong both the gestation period and the duration of labor in rats at this dose.	薬剤 A はこの用量でラットの妊娠期間及び分娩時間を延長させることが示されている。
治療上の有益性→治療上のベネフィット	
This drug should be used in pregnant women or women who may possibly be pregnant only if the expected therapeutic benefits outweigh the possible risks associated with treatment.	本剤は、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対して、予想される治療上のベネフィットが治療に伴うリスクを上回る場合にのみ投与する。
Observational studies suggested that breast-feeding benefits the visual development of preterm children, which has been attributed to the presence of docosahexaenoic acid (DHA) in breast milk but not most formula milks.	観察研究により、早産児の視覚発達に対する母乳栄養のベネフィットが示唆されたが、これはほとんどの粉ミルクには含まれていない母乳中のドコサヘキサエン酸(DHA)の存在によるものである。
Because of the potential for serious adverse reactions in nursing infants, a decision should be made whether to discontinue nursing or discontinue the drug, taking into account the importance of the drug to the mother.	乳幼児に重篤な副作用が起こる可能性があるため、本剤の母親に対する重要性を考慮に入れて、授乳を中止するか、あるいは本剤を中止するかの決断を下すこととする。
ヒト母乳中へ移行→ヒト母乳中に移行	

Because many drugs are excreted in human milk, caution should be exercised when Drug A is administered to a nursing woman.	多くの薬剤がヒト母乳中に移行するため、薬剤 A を授乳婦に投与するときには注意が必要である。
--	--

9.7 小児等

低出生体重児、新生児、乳児又は6歳未満の幼児を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

低用量(2.5mg/日)から投与を開始するなど慎重に投与すること。一般に過度の降圧は好ましくないとされている。体内動態試験で血中濃度が高く、血中濃度半減期が長くなる傾向が認められている3)。[16.6.3 参照]

Low-birth-weight infant is an infant born weighing less than 2500 grams regardless of gestational age.	低出生体重児とは、在胎期間を問わず、2500 グラム未満で生まれた乳幼児である。
--	--

Due to the μ -opioid receptor agonistic activity of Drug A, neonates whose mothers have been taking Drug A should be monitored for respiratory depression.	薬剤 A には μ オピオイド受容体アゴニスト作用があるため、薬剤 A を服薬している母親から生まれた新生児は呼吸抑制の有無について経過観察することとする。
--	--

For infants under 1 year old, treatment by a physician should be prioritized and, when only necessary, allow them to take the medicine.	1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。
---	---

Adults (15 years old and over) and children 2 years old and over: nebulize 1 to 2 sprays at a time to each nostril for 1 up to 5 times a day. For toddlers, it is advisable to apply 1 to 2 drops of the medicine by using a cotton swab for nostril application. The intervals for applying the medicine should be at least 3 hours.	成人(15歳以上)及び2歳以上の小児: 1回に鼻腔内に1~2度ずつ、1日5回を限度として噴霧する。なお、幼児に対しては、綿棒を用い1~2滴を塗布することが望ましい。また、適用間隔は3時間以上おくこと。
---	--

However, as ocular fluids have a pH of approximately 7.2-7.4, this environment is not favorable for redox cycling.	しかし、眼内液の pH は約 7.2~7.4 であるので、この環境は酸化還元サイクルにとって好ましくない。
--	---

There is a tendency toward marked decrease in the arterial blood oxygen saturation during sleep in COPD patients who show a decrease in the partial oxygen pressure (PaO ₂) when awake.	覚醒時に酸素分圧(PaO ₂)の低下を示す COPD 患者では、睡眠時に動脈血酸素飽和度の著しい低下が起こる傾向がある。
---	--